

ZEHへの取り組み

■ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)とは

住宅の断熱性能や設備の省エネ性能の向上、再生可能エネルギーの活用等によって、年間の一次エネルギー消費量よりも、住宅で創り出したエネルギーの方が正味(ネット)を上回るもしくはその差がゼロになる住宅の事をさします。

温室効果ガス削減に貢献でき、地球環境にやさしい暮らしをめざし、政府では2020年までに標準的な新築住宅のゼロエネルギーを推進しています。

■ZEHの流れ

ZEHはエコ住宅ですので、今後のエネルギー施策を考えても、政府は積極的に推進して行きたいと考えています。

具体的には、2020年までにZEHまではいかないまでも省エネ基準を新築戸建てには義務付け2030年に、新築住宅の平均でZEHを実現しようとしています。つまり、これからの新築住宅はほとんどがエコ住宅になっていくわけです。

■イトウ創建での取り組み

2020年度における年間のZEH(NearlyZEHを含む)建築割合を50%とすることを目標としています。

年度	2019年	2020年
ZEH目標	40%	50%

2018年度実績 総建築数 11軒

■ZEHの周知・普及に向けた具体策

HPや広告、見学会イベント等でZEHについての告知を行う事で周知・普及に努めます。

ZEHを採用した物件についてはお客様の許可があれば完成見学会を開催し、来場者へのZEHの説明を行います。

住まいづくりを検討されている方へ、具体的な内容をわかりやすく説明をし理解して頂けるようにします。

■ZEHのコストダウンに向けた具体策

断熱材やサッシ等の材料の見直しを行い、発注先とも連携を取って少しでもコストダウンに繋がるようにします。

過剰な性能にならないよう、物件ごとに性能値を分析し最適な仕様にする事でコストダウンを図ります。

■その他の取り組みなど

日々進化する新商品や新工法などの情報収集を続けます。

住みやすい間取りや商品をご提案し、より省エネルギー性の高い住まい作りを目指します。